

役員会議事録

平成17年5月18日(水)
10時15分から11時20分まで
役員会議室

出席者

議長	仙道富士郎(学長)				
理事	沼澤 誠	鬼武一夫	遠藤 剛	田村幸男	松井良業
監事	本木正光				
列席者	総務部長	財務部長	学務部長	施設部長	
	総務課長	企画課長	人事課長	財務課長	

議事

1 将来計画専門委員会ワーキンググループについて

田村理事から、本件について資料1に基づき説明があった。

次いで学長から、この案をベースにして進めていきたい旨提案があり了承された。

なお、ワーキンググループ委員については、委員構成を評議員クラスにするなど、各学部バランスが取れるように配慮されたい旨意見があり、委員については、再検討することとなった。

2 寒冷地手当の取扱状況について

田村理事から、寒冷地手当の支給については、労働組合とは継続的に協議することで、いわゆる36協定等は6月末までの暫定で締結しており、解決策に向けて他大学、関係地方公共団体の支給状況を調査した旨資料2に基づき説明があった。

3 山形大学事務改革ワーキンググループの設置について

田村理事から、本件については、以前にも役員会で報告しているが、去る5月13日開催された事務協議会からも意見を得て、資料3のとおり設置したい旨説明があり、了承された。

4 人文学部学科改組について

鬼武理事から、昨日、本件について文部科学省の国立大学法人支援課に相談に行った人文学部長から相談の概要について報告を受けた旨説明の後、総務課長から、本件は概算要求事項にリンクしないが、6月か7月の大学設置・学校法人審議会運営委員会への事前伺いをする必要があるため、同委員会で審査を受けるための設置計画の記載方法について助言を受けた旨説明があった。

次いで学長から、本件について、設置審査に向けて進めて行く旨提案があり、了承された。

なお、学科改組等の案件については、大学改革特別委員会で取り扱っていたが、同委員会は廃止されているため、今後は、基本構想委員会で説明等を受け、審議することとなった。

5 その他

(1) 医学部教員の定員管理に伴う問題について

学長から、本件については、次の教育研究評議会で役員会としての見解を出すことになるが、まず、学長、沼澤理事及び田村理事で検討した後、役員会で審議し、教育研究評議会に出すこととしたい旨発言があり、了承された。

(2) 霞城サテライトについて

学長から、本施設は、設置場所も良く、山形大学のシンボリックなものとして残す方向で進めることとしたい旨説明があり、関係理事等で検討した結果について、説明があった。

(3) 教員養成関係について

沼澤理事から、去る5月2日に附属学校運営会議を開催した旨、また、来る5月20日に教職研究総合センター運営会議を開催する旨及び6月下旬か7月上旬に、山形県、山形市との地域教育推進協議会を開催したい旨説明があった。

(4) 附属学校の改修について

沼澤理事から、附属学校の施設設備が老朽化しているので、概算要求に向け検討を進めている旨報告があった。

(5) セクシュアル・ハラスメント防止委員会について

沼澤理事から、山形大学セクシュアル・ハラスメント緊急対策協議会からの答申を受けて、来る5月25日にセクシュアル・ハラスメント防止委員会を開催し、規則の改正等について審議する旨報告があった。

(6) 学寮裁判関係について

学務部長から、学寮に関する建物明渡請求事件については、5月17日に和解した旨報告があった。また、旧学寮生からの損害賠償については、9月20日に仙台高等裁判所で判決となる旨報告があった。

(7) 平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

鬼武理事から、本件報告書は、ほぼ完成し、今後監査法人の監査を経て、経営協議会で審議し、6月末には文部科学省へ提出することとなる旨説明があった。また、各役員には、文部科学省へ提出の前に確認等願うので、協力願いたい旨発言があった。

配付資料

資料1 将来計画専門委員会の下に置かれるワーキンググループについて

資料2 寒冷地手当の取扱状況

資料3 山形大学事務改革ワーキンググループの設置について(案)

資料4 山形大学人文学部 平成18年度実施を目標とする学科・教育コース再編案の概要